

# Tezukayama

No.28

University Letter  
2010.12.25

 帝塚山大学  
TEZUKAYAMA UNIVERSITY  
「大学通信 帝塚山」企画・編集委員会

ネットワークコンテスト  
「conf-t」で最優秀賞!!

特集 1

P.2

● 文部科学省大学教育改革支援事業に2件採択!

『卒業生・保護者と大学の協働型キャリア支援』『学士力基準構築と人材の育成』

特集 2

P.4

● 地域と共に歩む 帝塚山大学の社会貢献事例紹介

P.8 学部・学科の話題

P.16 キャンパスボイス

P.18 お知らせ・イベントニュース

人と人と社会、今と未来を結ぶ  
**絆**  
KIZUNA

[www.tezukayama-u.ac.jp/kizuna/](http://www.tezukayama-u.ac.jp/kizuna/)

# 5年連続計11件の

平成22年度文部科学省大学教育改革支援事業に取組 2 件採択

特集 **1**

## 取組選定

質の高い教育力を裏付ける



文部科学省の平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」に申請した取組「卒業生・保護者と大学の協働型キャリア支援」と、「大学教育・学生支援推進事業・大学教育推進プログラム」に申請した心理福祉学部の取組「心理福祉分野の学士力基準構築と人材の育成」が選定されました。

なお、「大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム」と「大学生の就業力育成支援事業」の両方に選定された大学は全国の国公私立大学では7大学、関西以西の私立大学においては、本学のみ。外部からの評価が、本学の教育力の高さを裏付けています。

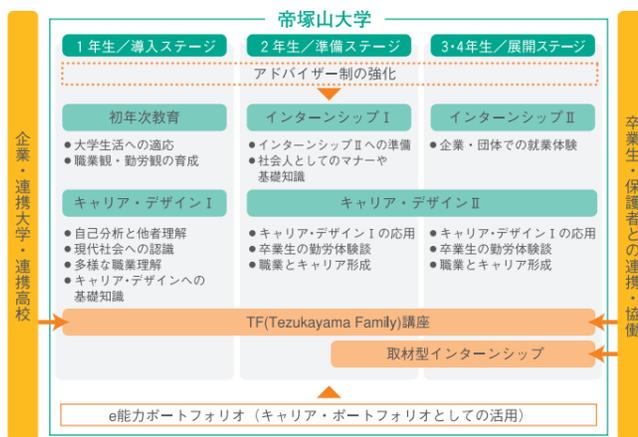
### 卒業生・保護者と大学の協働型キャリア支援

**1** 入学から卒業までの（初年次教育からはじまる学士課程教育全体の）教育プログラムの再構成

**2** 初年次教育と「キャリア・デザイン」科目の充実

**2** 卒業生・保護者との連携・協働による持続的な就業力の育成

**3** 卒業生対象の経年的追跡調査



本取組は、多様な業種・職種に就く卒業生・保護者を貴重な教育資源としてとらえ、卒業生・保護者と大学の連携・協働を通して、学生の就業力を育成する協働型キャリア支援の取組です。本取組の内容は大きく2つに分かれます。（左記参照）

これらの活動を通して、職業観・勤労観の形成および社会的・職業的自立に必要な資質や能力の育成をめざします。

事業支援期間  
 平成22年度から26年度（5年間）

申請・選定状況  
 申請件数…441件  
 選定件数…180件  
 選定率…40.8%

取組推進者  
**岩井 洋**  
 経済学部教授

一般的なインターンシップでは、受身になってしまう学生が少なくありません。自ら取材してインターネットに配信するという積極的な姿勢を通して、職業観の形成やコミュニケーション能力の向上につながるのではないかと考えています。



### 心理福祉分野の学士力基準構築と人材の育成

専門的知識と研究実践能力を踏まえたカリキュラム

本取組は心理学・社会福祉学の分野における質の高い学士力を育成するために、心理福祉学部が中心となり、大学院人文科学研究科臨床社会心理学専攻と「心のケアセンター」が協力することで、当該分野における効果的な教育を実施し、地域との連携・協働により、実践場面で活躍できる高度専門的職業人の育成を目指すものです。国内外の「学位水準基準」を参考にした帝塚山大学独自の「心理福祉分野学士力基準」を構築し、それに基づいて学習成果を適切に評価。心理福祉分野での学士力として、第一に、専門知識（心理福祉分野での専門的知識の理解とその活用）、第二に、研究実践能力（人間の心や行動、社会的側面を調べる研究方法の習得とその活用）をめざしてカリキュラムを構築します。

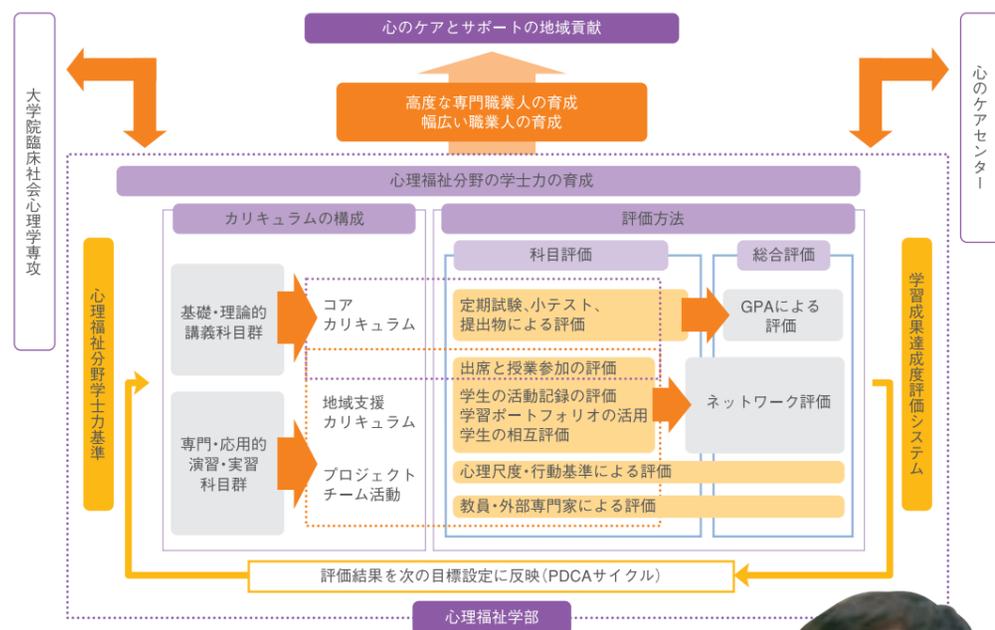
実際のフィールドで問題解決能力を育成

さらに、本取組では、第三に、応用実践能力（心理福祉分野での問題解決

のための能力育成とその活用」という領域を設定したことが大きな特色。特に、応用実践能力の分野では、現代社会の問題解決能力を有する心理福祉分野での専門的職業人を育成するという目標を設定して、そのためのカリキュラムを構築します。心理福祉学部のネットワークを生かして、「プロジェクトチーム活動」として、小中学校でのスクールサポーター活動や発達障がい児へのグループワーク活動、職業人へのメンタルヘルス調査、高齢ドライバー調査などを行います。これらの活動を通じて、実際のフィールドにおいて、学生と教員が一緒に学ぶことで応用場面での問題解決能力を育成します。

学士力のための教育課程

また、取組では、心理学と社会福祉学分野で、質の高い学士力を有する高度専門的職業人の育成を図るための教育課程を実現。まず、基礎・理論的講義科目群からなる、心理学・社会福祉学の「コアカリキュラム」を整備します。この「コアカリキュラム」には、学士力基準の「専門知識」と「研究実践能力」の側面を育成する講義科目群や演習・実習科目群が含まれています。



事業支援期間  
 平成22年度から24年度（3年間）

申請・選定状況  
 申請件数…298件  
 選定件数…30件  
 選定率…10.1%

取組推進者  
**蓮花 一己**  
 心理福祉学部長  
 心理福祉学部教授

評価システムを明確にすることで、学生が自己評価だけでなく、教員も状況に応じてきめ細かなサポートができるようになり、さらに質の高い学士力の育成につながります。



9月4日、奈良市の春日野荘で開かれた幼児教育推進委員会の講演会にて、現代生活学部子ども学科の村尾忠廣教授が講師を務めました。

村尾教授は、認知音楽学、音楽教育学の分野で国際的に活躍しており、当日は「子どもの創る子どもの歌と大人が創る子どもの歌」という演題のもと、奈良市の幼稚園教諭と保育士約70名を前に講演を行いました。講演では、「ずいずいずいずいころばし」や「あぶくたった」のような「子どもの創る子どもの歌」と、「ホップステップジャンプ君」や「夕焼小焼」のような「大人が創る子どもの歌」の、それぞれに



んな特徴があるのかを考察しました。参加者からは、「歌を歌う楽しさが先生からとても伝わってきました」「身近な歌ひとつひとつにこれほどの面白さがあったのかと驚きました」などの声をいただき、今回の経験が、日常の自らの実践を見つめ直す手がかりとなったことが、参加者の感想からもうかがえました。

奈良市幼児教育推進委員会は、幼稚園教諭と保育士が共通認識をもって幼児教育に取り組んでいくことを目的に設けられた組織であり、本学子ども学科の清水益治教授や岡澤哲子教授も同委員会に関っています。子ども学科は、地元・奈良市の幼児教育の推進と共に歩んでいます。

### 子ども学科 奈良市と幼児教育で連携



9月26日、「なら食育推進大会」が、奈良県文化会館にて開催され、現代生活学部食育栄養学科の「ヘルスチーム菜良」が参加しました。本大会は、奈良県及び奈良県食育推進会議及びヘルスチーム菜良が主催したもので、大学

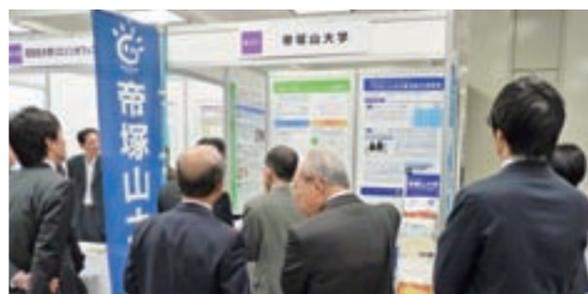
生や高校生など若い世代の方々に、食生活を見直すきっかけとしてもらうことを目的に開催されたものです。

本学のブースでは、肺活量や血圧の測定や、食事チェックを実施。また、2つのボックスからそれぞれ食事のメ

### ヘルスチーム菜良「なら食育推進大会」に参加！

ニューを引き、どちらに野菜が多いかというクイズも行いながら、野菜や朝食を食べることの大切さを訴えました。そして午後からは、フォーラム「おいし、安心をみんなの食卓へ！」が同会場にて開催され、食物栄養学科3年の伊藤圭祐さんがパネリストとして参加。伊藤さんは、ヘルスチームに入っただきつけや活動について紹介すると共に、「食育という分野について、知らない人に最初から難しいことをいっても興味をもってもらえないので、まずはやさしいことから紹介して、食育に興味をもってもらえるようにしたい」と今後の抱負を語りました。

ヘルスチーム菜良は、10月10日東生駒キャンパスで開かれた虹色祭(大学祭)でも、健康チェックを行い、地域の方々の健康促進に寄りました。



写真上：本学ブースの様子(産学連携ゾーン)  
写真中：本学ブースの様子(農商工テーマゾーン) 研究に携わっている山本学長もブースに入り、各装置についてPRしました。  
写真下：奈良テレビによるプレゼンPRには、大学院連合メンタルヘルスセンターが参加。同センターの代表理事を務める森下高治教授(帝塚山大学 心理福祉学部)と、西澤和佳さん(大学院臨床社会心理学専攻)がプレゼンテーションを行いました。

12月7日、産学連携の取組の一環として、昨年に引き続き「ナント農商工ビジネスフェア2010」(主催 南都銀行、南都経済センター)に、ブース出展しました。

このフェアは、出展企業と来場者のビジネスマッチングを図ることが狙いで、今年は約200の企業・機関の参加があり、教育機関からは、同行と産学連携を行っている10機関が出展しました。

本学からは、産学連携ゾーンに、メンタルヘルスに対する支援事業と、eラーニングシステム「TIEES」(Tieekayama Internet Educational Service)を出展。帝塚山大学こころのケアセンター及びNPO法人大学院連合メンタルヘルスセンターによる

メンタルヘルスケア支援事業と、帝塚山大学のeラーニングシステム「TIEES」による企業活動支援事業について、PRしました。

また、農商工テーマゾーンには、帝塚山大学と広島大学の共同研究「果実硬度装置及び食感測定装置」を出展。果実硬度装置は、果実の熟度や食べ頃を独自に開発した振動で切らずにわかるという技術をもっており、食感測定装置は、食感を数値で表すことが可能で、食感を売りにした食材の食べ頃を知ることができます。

本学ブースには、南都銀行西口会長をはじめ、多くの方が来訪し、本学の取組に高い関心を示していました。本学は、今後も積極的に産学連携に取り組んでいきます。

### 産学連携 ナント農商工ビジネスフェア2010に参加

## 特集2

### 地域に開かれた大学

大学の社会的役割には、教育・研究活動に加え、地域貢献活動があげられます。帝塚山大学は、「地域に開かれた大学」を標榜して、大学開設以来、継続的に様々な取組を推進してきました。

大学開設当初は、年間数講座だった公開講座は、今では各学部や各研究所主催の講座を含め、年間50講座を超えて開催しており、その分野は、歴史、経済、社会学など多岐にわたっています。今年で22年目を迎えた生駒市図書館との共催講座や、考古学研究所の「市民大学講座」、奈良学総合文化研究所の「奈良学への招待」など、長きに亘って地域の方々に支持される講座が生まれています。

### 学術研究の推進と子どもの社会的成長

そして、心理福祉学部を中心とした学市連携にも積極的取組んでいます。

例えば、教育委員会や、NPO法人、児童相談所、福祉関係の団体から「人間関係作りには何かよい解決策はないか」という相談件数が多かったことを受けて、年に数10件ほど、地域貢献のためのABCプログラムを展開しています。生駒市との学市連携に続き、文部科学省の現代GPに採択された取組「心のケアとサポート人材養成と自立支援」と同時に開始した交野市の小学校における「ベ

2006年度からは、日本文化を学ぶ学科を有する奈良の大学として、奈良国立博物館が主催する「正倉院展」に協賛するとともに、協賛を記念して開催している「中学生・高校生のための正倉院展講座」「高校教員のための正倉院展講座」は、毎年好評を博しています。そして、2009年度には、現代生活学部子ども学科を開設したことに伴い設置された「子育て支援センター」において、2歳〜6歳の子どもと保護者を対象とした「親子教室」や、保育士や幼

生や高校生など若い世代の方々に、食生活を見直すきっかけとしてもらうことを目的に開催されたものです。

本学のブースでは、肺活量や血圧の測定や、食事チェックを実施。また、2つのボックスからそれぞれ食事のメ

を締結しました。

### 地域社会と連携した活動

近年は、学生がボランティアや、サークル活動で地域貢献に取組む事例も多く見られるようになりました。2009年度に、奈良県の要請を受けて結成された健康づくりを支援するサークル「ヘルスチーム菜良」は、現代生活学部食物栄養学科の2・3年生を中心に学内や地域で食生活改善を中心とした啓発活動を展開しています。

そのほかにも、同年度には、ボランティアサークル「奈良地域取材班若芽」が、財団法人学生サポートセンターが行っている学生ボランティア団体助成に、多数の応募の中から採択されました。同サークルでは、福祉関係の施設やイベント取材して、地域密着型福祉情報誌「Wan media」を年4回発行したり、地域のボランティアに参加しています。そして今秋には、新たなボランティアサークル「BBS (Big Brothers and Sisters Movementの略称)」も誕生しました。本学に対する地域社会からの期待も年を追って高まっており、地域社会と連携した様々な活動がますます必要となっています。

帝塚山大学は、今後も地域に根ざし、社会に開かれた大学として活動してまいります。

### 飛鳥保存財団との連携協力イベント実施

帝塚山大学と飛鳥保存財団は、2008年に飛鳥をフィールドとした生きた大学教育の推進並びに飛鳥地域の保存・発展に貢献することを目的に、連携協力に関する協定書を締結し、毎年連携イベントを実施しています。

今年の連携イベントでは、9月18日に、飛鳥駅前で、現代生活学部居住空間デザイン学科の植村和代ゼミと村川香代子ゼミが、インテリアファブリックを展示し、吹奏楽部の演奏や茶道部による野点でイベントを盛り上げました。そして、夕方からは、関根俊一教授が率いる人文学部日本文化学科の学生が「飛鳥白の回廊」に参加し、地域住民の方と一緒にキャン

たほか、10名の学生が飛鳥時代の古代衣装を身にまとい、飛鳥駅前での誘導や、高松塚壁画館での受け付けを行いました。

9月19日、9月23日には、人文学部日本文化学科の関根俊一教授と森郁夫客員教授が、「飛鳥を



巡る「美術編」。「飛鳥を巡る」考古編」と題して、公開講座&ウォークを実施。90分の講義を行った後、川原寺や橘寺、鬼の俎・雪隠、亀石など明日香村の文化遺産を巡りました。

# 地域と共に歩む

CAMPUS REPORT

虹色祭 2010年10月10日 sun & 11日 mon

10月10日・11日に、第46回帝塚山大学 大学祭「虹色祭」が、東生駒キャンパスにて開催され、秋晴れの中、本学学生や高校生はもちろん、日頃お世話になっている地域の方々など多数の方にご来場いただきました。

今年のテーマは、「Pandemic～ここから広がる笑顔の輪～」。このテーマには、全ての来場者が「笑顔」で楽しんでもらえるようにという学生の思いが込められています。

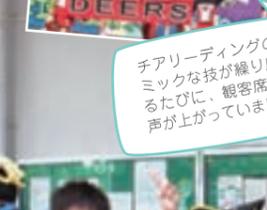
2日間に亘り、学生たちによる様々な模擬店や、サークル活動の展示や実演があり、中庭に特設された野外ステージでは、チャ・リーディングやダンス、様々なコンテストで会場を盛り上げました。

そのほかにも、10日には同窓会からのご提供による「移動動物園」が第2グラウンドで開園され、多くの親子連れで賑わいました。また、11日には、メインステージにて、本学学生が「あかん！薬物!!なぜだめなのか?」と題したクイズを行い、薬物防止を訴えました。

そして、大学祭のフィナーレとして、11日の夜、音楽に合わせて花火が打ち上げられ、感動的な演出に会場は一段と盛り上がっていました。



同窓会ご提供の「移動動物園」



おいしいア～!

女装コンテスト

大学祭実行委員会みんな、虹色祭にむけて夜遅くまで頑張って準備をしてくれました。

留学生のスピーチコンテスト 第13回留学生スピーチコンテストでは、SHWE SIN THANさんが、第7回中国語朗読コンテストでは、湯浅善文さんが優勝しました。

ミス帝塚山★決定★

今年の帝塚山MISS No.1コンテストには、瀬川ひとみさん(現代生活学部居住空間デザイン学科1年)が選ばれました。グランプリに輝いた瀬川さんは、「784なのはちよん」(ならどっとFM発行 地域情報誌)の2011年冬号の表紙を飾ります。

ナイスカップルコンテスト

いらっしゃーい

ヘルスチーム菜食によるヘルスチェック

吹奏楽部 大絶賛をうけた仮装をしたの演奏パフォーマンス

新たな学生ボランティアサークル BBSサークル発足

9月30日に学園前キャンパスにて、帝塚山大学BBSサークル(発起人・西村日出男心理福祉学部地域福祉学教授、顧問・三木善彦心理福祉学部心理学科教授 BBSとは、Big Brothers and Sisters Movementの略称)の発会式を行いました。当日は多数のご来賓の方々が出席し、発会のお祝いとして本学ヘルマンハープサークルの演奏、顧問である三木教授のマジックショーなども行われました。今後は、会長の服田将史君(地域福祉学科2年)のもと、積極的な活動を進めていくことが期待されます。

1 友だち活動

地域の少年たちの兄や姉の立場から同じ目の高さになって、少年たちの話し相手、相談相手となって、彼ら

留学生も活躍 公民館で中国語・韓国語教室開催

地域貢献活動の一環として、近隣の自治体で開催される「外国語入門講座」に留学生を講師として派遣しています。もともと本学で開講していた会話道場から始まった同講座も今年で5年目を



を迎えました。奈良市の三笠公民館で、中国語を教えるのは、今年5月から同公民館で中国語入門を担当。中国語独特の発音を教えるのが難しいという韓

さん、授業では、一つひとつの発音を何度も復唱して、丁寧に教えていました。受講生の方の熱心さに

励まされ、月に1回はボランティアで、奈良市の中央公民館にて三笠公民館の受講生らに中国語を教え、欠席者のフォローや、受講生の復習を支援しています。

また、今年の10月からは、バクチョルウンさん(法政学部2年)が、奈良市の富雄公民館で韓国語を教えています。バクさんの講座受講生の森井明さんは、「一番近い国で何も知らないから、言葉を感じて理解しようと思っただけのきっかけ。新鮮で毎週楽しい。先生が一生懸命なので自分もそれに引張られています。日常会話レベルくらいにはなりたいですね。」と抱負を語ってくれました。

2 グループワーク

少年たちとグループになって、スポーツやレクリエーションなどを行い、共に楽しむことにより、少年たちに一人ひとりのときとは違った共感や、心を開くきっかけを与えます。

3 社会参加活動

保護観察所と協力し、少年たちと共に社会奉仕活動などのさまざまな活動に参加しながら、社会の役に立つ喜びを分かち合います。

4 非行防止活動

さまざまな広報活動や各種イベント、集会などを地域で実施し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に努めます。

5 自己研修活動

活動を実践するために必要な知識や技能の習得や、会員同士の意見交換の場として、さまざまな研修を行います。

6 学科や学年を超えた会員相互の親睦

その他、これらの目的を達成するために必要な事業



「子どもいきいきサタデースクール」に参加しました。

まだある! 帝塚山大学 地域貢献の取組



中学生・高校生のための正倉院展講座 (10月24日実施) 人文科学部日本文化学科 関根俊一教授後一教授ゼミの4年生の村本竜佑さんと江口涼さんが、引率にボランティアで参加し、活躍してくれました。



子育て支援センター親子教室「えのぐであそぼ!」 (10月23日実施) 19組の親子が参加し、現代生活学部子ども学科の学生もお手伝いしました。



高校教員のための正倉院展講座 (10月30日実施) 正倉院と縁の深い東大寺の大仏を登壇参拝しました。



冬の特別公開講座「腰機に触れる」 (11/29、12/6、12/13実施) 現代生活学部居住空間デザイン学科は、100を超える織物に関する機具を所有しており、帝塚山大学の恵まれた施設を一般の方にも開放することを目的に開催しました。



平城遷都1300年記念イベント「光と灯りのフェア」 現代生活学部居住空間デザイン学科の学生を中心としたボランティアが「影絵」を出展。



こころのケアセンター 無料カウンセリング (10月4日～8日実施)



## 人文学部 英語コミュニケーション学科

### 卒業生のプロサッカー選手が、英語コミュニケーション学科1年生に講演

現在ニュージーランドでプロサッカー選手として活躍する松村泰樹さん（英語文化学科2008年卒業）が、10月15日、学科1年生を対象に講演を行いました。

松村さんは、サッカー選手になるという夢を追いかけ、本学科在学中からイギリスに留学し、卒業後にワーキングホリデーで行ったオーストラリアでもサッカーを続け、今年からニュージーランドでプロ選手として活躍しています。

講演では、在学中に夢を追いかける過程で、英語力の必要性に気づき、必死で勉強したこと、シェフナー教授に相談して、在学中にイギリス滞在を実現したことや、ワーキングホリデーで海外に行っても、結局日本語を使う環境で仕事をする人が多いことなど、これから海外に行く機会が多くなる1年生に、熱心にアドバイスをしてくれました。



質疑応答の様子  
講演中も質疑応答でも、一貫して夢を持つことの大切さと楽しさを訴え、「後悔しないように過ごしてほしい」と何度も繰り返していました。

## 現代生活学部 居住空間デザイン学科

### 飛鳥駅前インテリアフェブリックを展示

9月18日、植村和代教授のゼミ生と、村川香代子教授のゼミ生総勢約20名の学生が、飛鳥保存財団との連携協働イベントの一環として、飛鳥駅前にインテリアフェブリックの展示を行いました。

植村ゼミは、「あかりに映える織物のオブジェ」というテーマで、歴史のロマンが詰まった様々なイメージを織物で表現。10メートルにわたる色鮮やかで、清新な3つの織物が、飛鳥駅前を彩り、夜には下からキャンドルに照らされ、幻想的な雰囲気を醸し出していました。



一方、村川ゼミは、「石室から21世紀の星空を眺めよう」というテーマで、飛鳥のキトラ、高松塚をイメージ。古墳内部の石室を紙で作り、四神を影絵で四方に配置しました。

会場を訪れた人たちは、四神や1300年の文字が浮かび上がるカップキャンドルで石室に導かれ、天井から飛鳥の夜空を眺めていました。どちらの作品も、初夏から準備し、夏休み期間も利用して制作した力作です。昼間とは違った駅前の幻想的な雰囲気に明日香村を訪れた観光客らは、思わず足を止めて見入っていました。



写真上：植村ゼミ作品 写真下：村川ゼミ作品

## 現代生活学部 食物栄養学科

### 高知医療センターで臨床栄養研修を行いました

9月6日・7日の両日、3年生14名が高知医療センターでの臨床栄養研修会に参加しました。研修会では、最初に堀見病院長が病院の概要や「患者さんが主人公の病院」という医療方針について熱く語ってくださり、次に渡邊栄養局長が管理栄養士の業務内容などを、電子カルテなどを用いて説明してくださいました。その後病棟を見学して、ベッドサイド端末からの食事の注文システムなどを体験。病院の食事とは思えないほど多くのメニューから好みの食事を選ぶシステムは、まさに患者さん中心の医療であると感じました。そして、最後に栄養局長の管理栄養士さんが全員集まって、私たちの質問の一つひとつに丁寧に答えくださいました。

今回、高知医療センターでの研修に参加し、現場で働く栄養局長の皆さんの話を聞くと同時に臨床栄養の最新の現場を見学することで、病院栄養士という職業に興味を持つことができました。



研修の様子  
チーム医療の推進や最新の医療機器を導入していることなど、この病院の取り組み姿勢もよく理解できました。

## 心理福祉学部 地域福祉学科

### 関心を広げるゼミ ~自分、他者、社会への関心へ

1年生の基礎演習（安留孝子准教授ゼミ）の様子を紹介します。前期は、「自分を知る・伝える」「他者を知る・話を聴く」をテーマに、子どもの頃の思い出、趣味、地域のよいところ、将来の夢などを題材にしました。また、障がいのある人やその家族の手記を図書館で選び、内容と感想を発表する「読書紹介」や、「車いす体験実習」も行いました。後期は、「社会（問題）への関心を広げる」ことを目標に、新聞記事や学生たちが選んだ本（『生き方の不平等』）を使い、高齢者介護や若年労働、「格差」の問題などについてディスカッションをしています。1年生には難しい内容ですが、資料作りや報告、進行の仕方も少しずつ上達し、自分の意見を持つこと、相手の意見から学ぶことの大切さを各自が実感しつつあるようです。嬉しいことに、最近は、中国人留学生と日本人学生たちがお互いの国の文化や習慣に関心を持ち、積極的に質問し合い、意見の違いを認め合う光景が多く見られるようになりました。



写真左：ディスカッションの様子  
写真右：グループでまとめた意見を代表して発表する学生たち

## 経済学部 経済学科

### 特別講義「先輩から学ぶ生きた経済」を新しく開講

経済学部では、2010年度後期より、本学卒業生の方々によるリレー形式の科目として「特別講義（先輩から学ぶ生きた経済）」を開講しました。この講義は、帝塚山大学同窓会会長の高橋直嗣氏をはじめ、本学を卒業し企業・団体等で活躍されている諸先輩方から、自らの実体験に基づく社会経済の見方や考え方、つまり「生きた経済」を、リレー形式で講義をしていただくものです。講義の内容は、「従事されている業界・企業団体の状況」、「仕事上の経験談・苦労談」、「本学学生への就職活動についてのアドバイス、および就職後の心構え」等です。

この生きた経済の講義を通して、学生が自らの社会経済の見方や考え方をより現実的にし、理論的な他の講義科目との結びつきを考えるようになることを期待しています。



丸二倉庫株式会社 保田裕章氏  
(2000年3月経済学部経営情報学科卒業)  
による講義の様子  
「社会が求める自律型人間とは!!」というテーマのもと、資格取得を目指す意味、人事が欲しいと思う人物像、人生の中での仕事の位置づけ、自ら目標を設定することの重要性などについて、御自身が人事・労務をご担当されているご経験や、ルソーやカーネギーなどの様々な学者の言葉を織り交ぜながらわかりやすくお話いただきました。

各学科の取組やその他の話題は、HPで紹介しています。

詳しくはこちら <http://www.tezukayama-u.ac.jp/faculty/> 気になる学部をクリック!!

## 心理福祉学部 心理学科

### 応用心理学研究室 自転車・歩行者実験を教習所にて実施

応用心理学研究室（蓮花一己教授）では、10月4日に奈良交通自動車教習所において、29名の高齢者の皆さんに対して、歩行者・自転車の行動実験を実施しました。蓮花教授がプロジェクトリーダーを務める自転車研究プロジェクトの一環です。

実験は、帝塚山大学を中心に、大阪大学、立命館大学の学部生や大学院生10数名からなる合同チームで実施。高齢者にヘルメットをかぶってもらい、ジャイロセンサーという角速度の測定器を付けて、教習所内のコースを歩行してもらったと同時に、自転車で走行してもらいました。また、教習所でのビデオ観察や質問紙調査も合わせて行いました。

今後、高齢者の確認行動や歩行・走行速度、経路などを分析して、歩行者や自転車利用者の交通安全対策に結び付ける予定です。



写真左：実験の様子  
写真右：高齢者の方に自転車で行ってもらうために詳細な説明を行います。

## 現代生活学部 こども学科

### 小学生に大学を案内

10月14日、学園前キャンパスに伊賀市立河合小学校6年生37名が大学体験学習に入学し、こども学科の学生14名が大学の案内役を務めました。まずはじめに、学生の自己紹介があり、4~5名のグループに分かれた後、早速18号館の見学へ。こども学科の学生が先頭に立ち、音楽教室や、造形室、小児保健実習室、子育て支援センターなどを観て回り、小学生にわかりやすく、丁寧に各施設を紹介して回りました。小学生は、実際に、音楽室のピアノを弾かせてもらったり、小児保健実習室にて赤ちゃんの抱き方を学んだり、大講義室で大学生達の普段の授業の雰囲気を体験することで、どんどん学生と打ち解けていました。

そして、11時頃からは図書館へ。小学生は、普段目にする事のない難しい書物を前に、学生の説明を一生懸命に聞いていました。

その後、昼食のためみんなで学生食堂へ移動しました。小学生は初めての経験に驚きながらも、楽しんでメニューを選んでいました。

引率の河合小学校の先生から、「帝塚山大学の学生のアットホームな雰囲気がすごく良かった」「今まで見た事がないこども達の一面が見られてびっくりしている」などの嬉しい感想もいただき、小学生はもちろん学生にとっても、貴重な経験になりました。



写真上：音楽教室にて  
写真中：大講義室で模擬講義  
写真下：学食でレジの精算を体験

## 経営情報学部 経営情報学科

### 簿記合宿実施

日商簿記検定3級（と2級）の検定合格に向けて、10月23日から25日の2泊3日、生駒山麓公園ふれあいセンターで学部の恒例行事となっている簿記合宿を実施しました。今回は1年生から4年生まで総勢48名の学生が参加しました。また、彼らをサポートするために、教員の他にチューター・アシスタント（SA）と呼ばれるすでに簿記3級に合格している先輩の学生が10名、また税理士資格をもつOBの先輩1名が参加。合宿中の学生は、紅葉が美しい生駒山麓という環境のなかで朝から晩までよく勉強し、簿記の勉強も進んでいるようでした。

経営情報学部では、2月にも簿記合宿を実施します。



簿記合宿の様子  
簿記試験に合格した先輩がわかりやすく解説します。

## 法学部 法学科

### ACAP提供講座を開講しました

法学部では、ACAP（社団法人消費者関連専門家会議）の協力の下、特殊講義「企業実務と顧客満足」を開講し、学部内で選抜された約35名の学生が受講しました。

ACAP提供講座として関西圏の大学での初の試みである本講座は、江崎グリコ株式会社、パナソニック電気株式会社、明治乳業株式会社、花王株式会社、関西電力株式会社、株式会社高島屋など、日本を代表する企業の「お客様相談窓口」等で活躍されているプロを講師としてお招きし、企業と顧客との間で生じる問題や、それに対する企業の取組などについて、リレー講義形式でお話いただくものです。

この講座を通じて「お客様相談窓口」の現場を知ることが、一市民として消費生活を送る上でも、また企業実務を知り就職活動を行う上でも、学生にとって貴重な経験になりました。



(株)ワコール 中村元繁氏による講義の様子  
広告に関する法的規制について実務の立場から様々なエピソードや業界の実話を交えつつ、「虚偽表示」や「優良誤認」、「不実証広告規制」等に関して、関連する企業行動憲章や不当景品類及び不当表示防止法、薬事法、健康増進法、JAS法にいたるまでの様々な法律に言及。

関連する企業行動憲章や不当景品類及び不当表示防止法、薬事法、健康増進法、JAS法にいたるまでの様々な法律に言及。

## 人文学部 日本文化学科

### 森ゼミの学生が一般の方を対象にシンポジウムを開催

森郁夫教授ゼミは、虹色祭が行われた10月10日、東生駒キャンパス1号館にて、一般の方を対象に「教科書では習わない奈良時代」と題したシンポジウムを開催しました。このシンポジウムは、「学生時代の記念に今までの研究成果を一般の方の前で発表してみたい」と、ゼミ生らが自ら申し出たことをきっかけに実現したもので、森教授の基調講演に続き、松村翔太さん（大学院 日本伝統文化専攻 博士前期課程2年）、藤井愛菜さん、安達奈央さん、中村孝行さん（全員日本文化学科4年）が、それぞれ研究成果を発表しました。その後、中村さんコーディネートのもとパネルディスカッションが行われ、藤井さんと安達さんがパネリストとして参加し、発表した研究内容を踏まえながら、ディスカッションを実施。

本シンポジウムには、約60名の一般の方が参加し、参加者からは、「学生ならではの柔軟な視点で新鮮だった」「思った以上に聞き応えのある内容だった」などのうれしい声もいただきました。冒頭の挨拶で、「初めてシンポジウムを学生が主催するというので、研究発表の指導だけでなく、他のシンポジウムを実際に見に行かせ、運営についても学んでもらいました。自分の子どもが初めて学園祭に出るよう頑張っています。」と挨拶した森教授も大満足で、シンポジウムは幕を下ろしました。



写真左：総司会役は、佐藤純さんと中村孝行さんが務めました。  
写真右：研究発表の様子

縁起のよい初夢を見るための作法として、宝船の絵を枕の下に入れて寝る風があり、江戸時代には「お宝、お宝」と叫びながら宝船の絵を売り歩くのが元旦の一つの景物であった。近代になってからは初詣でに杜事に詣でて賜わってくるようになった。大晦日から元旦にかけては夜を徹して御籠もりして年神様を祭るので、元旦の夜から二日の朝にかけての眠りの中で見る夢が初夢である。

杜寺から授かる宝船の絵は、はじめ稲の穂か米俵を載せた絵図であったが、次第に図柄が賑やかになって、七福神の宝珠や鶴亀など、芽出たつくめの物が満載された図になった。また宝船の帆に「猿」という字を書いたものが多いのは、猿という字が獅子、鼻は象、目は犀、胴は熊、尾は牛、足は虎に似て、毛は黒と白の斑と、多の猛獣を総合した動物で、夢を食うとか悪夢を食う動物だと故事に云われたことから、年頭にあたつての厄除けにこの字が用いられたのである。

なお、縁起のよい初夢は「一富士二鷹三茄子」とされるが、富士山・愛鷹山(足高)山は高山で、茄子は高値で高いものつくしである。

次第に図柄が賑やかになって、七福神の宝珠や鶴亀など、芽出たつくめの物が満載された図になった。また宝船の帆に「猿」という字を書いたものが多いのは、猿という字が獅子、鼻は象、目は犀、胴は熊、尾は牛、足は虎に似て、毛は黒と白の斑と、多の猛獣を総合した動物で、夢を食うとか悪夢を食う動物だと故事に云われたことから、年頭にあたつての厄除けにこの字が用いられたのである。

帝塚山大学園評議員(元・帝塚山大学学長) 国立歴史民俗博物館名誉教授・文学博士 岩井 宏實

### 民俗よもやま噺し

### 「宝船」

帝塚山大学園評議員(元・帝塚山大学学長) 国立歴史民俗博物館名誉教授・文学博士

岩井 宏實



今回紹介する資料は京都市左京区岡崎最勝寺町・同西天王町に所在していた最勝寺の軒丸瓦です。



堀河天皇の御願寺として造営が計画され、康和四(一〇一〇)年に落慶供養が行われた最勝寺は、同じ院政期に建てられた法勝寺・最勝寺・円勝寺・成勝寺・延勝寺と併せて六勝寺と称された中の一ヶ寺でした。この六勝寺は院政期に隆盛をさわかめですが、十三世紀から十四世紀には皆廃絶します。

この時代の京都では一つの寺院の造営を各地の受領が担当することがありました。最勝寺でも但馬・伊予・越後・若狭・播磨の受領が担当して

### 複弁蓮華文軒丸瓦(平安時代後半)

帝塚山大学大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻博士後期課程二年

木村 友紀

### 大学院所蔵資料紹介

### 図書館からのお知らせ

#### ブラウジング・コーナー

図書館にはブラウジング・コーナーがあります。「ブラウジング」とは、雑誌などを「パラパラめくる」という意味で、ほっと一息できるスペースです。

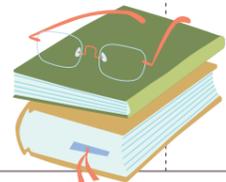
このコーナーには新聞、ガイドブック、地図等の比較的読みやすい(娯楽)雑誌やコミックスを置いていきますので、学習の合間や放課後のひととときに、自由に読んだりして、



### 本学教員の執筆図書を紹介

図書館調べ

- やわらかアカデミズム「わかる」シリーズ 大きくわかる福祉財政 山本恵子(心理福祉学部教授) 共著 ミネルヴァ書房
- 英国思想・ベヴァリッジ研究所研究叢書 「英国の知力」ロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)「激動と躍進の18年(1919-1937)」 ロード・ベヴァリッジ 著 相野健三(心理福祉学部教授) 訳 英国思想・ベヴァリッジ研究所
- 史上最強図解よくわかる恋愛心理学 谷口淳一(心理福祉学部准教授) 共著 ナッソク社
- 帝塚山大学附属博物館蔵品図版目録 考古I 森柳天(帝塚山大学附属博物館長) 責任編集 帝塚山大学出版会
- 韓日の瓦(韓国版) 森柳天(図画教授・名誉教授) 著 帝塚山大学出版会



### 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 民俗学を学ぶ-赤田ゼミにクローズアップ

日本伝統文化専攻の赤田光男教授ゼミでは、修士論文提出に向けて、順次中間発表を行っており、今回は、加藤綾香さん、吉本由梨香さんが、2年間の研究成果を発表しました。



加藤さんは、三重県上野盆地に伝わる雨乞習俗について研究しており、地誌や聞き書き調査等から得た情報を基に、様々な雨乞儀礼についてまとめ、今後、雨乞儀礼の一つである「羯鼓踊(かっこうおどり)」との関係性も踏まえて更に掘り下げていきます。

吉本さんは、十二神祇(神楽)について、広島県と山口県に伝わる將軍舞について研究しており、度重なる現地調査から得た情報を基に、悪魔祓いの舞とされる將軍舞について、五穀豊穡祈願や山の神信仰との関わりもあるのではないかと、独自の見解を示しました。

発表後には、赤田教授からのアドバイスも受けて、提出までに論文に更なる磨きをかけます。



赤田ゼミでは、5年前から京丹後市の史誌編纂(2012年発行予定)にも携わっており、現地調査のため、年に数回2泊3日で京丹後市の現地調査を行っています。また1995年より「帝塚山民俗談話会」を発足し、一般の方も交えて、他大学の大学院生や教員の発表、民俗学に纏わる施設等の見学会も行っています。

### 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻 大学院生、修了生、教員らが国際学会、国内学会で研究成果を発表



臨床社会心理学専攻の大学院生らが、相次いで国内外の学会でこれまでの研究成果を発表し、学内外から高い評価を得ています。

まず7月に、第27回国際応用心理学会議(ICAP)がオーストラリアのMelbourne Convention & Exhibition Centerで開催され、蓮花一己教授が日本の高齢化の問題(Measures to aging in Japan)をテーマに企画と司会(Chair)の重要な役割を担いました。

また、日本の働く人たちのストレス問題について、森下高治教授ゼミ修了生を含む3つの共同研究の発表が行われました。修士課程2年の野田智美さんと中川拓也さんは、研究発表テーマは「日本の企業従業員のストレスに関する媒介要因の影響」について、口頭発表しました。電子版ポスター報告では、心のケアセンター研修生・鹿野麗子さんが、「積極的傾聴トレーニングによるストレス効果研究」、臨床心理士で、学生相談室カウンセラーの小畑周介さんは「働く目的とストレスに仕事の充実具合がどう影響しているか」と題して、発表しました。いずれも、今後ストレス、メンタルヘルス問題に一石を投じ、研究を通しての社会への還元が期待されるユニークな研究として、学外からも高い評価を得ました。



また、9月には、日本応用心理学会第77回大会が京都大学で開催され、臨床社会心理学専攻の大学院生及び教員が、これまでの研究成果を発表しました。(発表内容は下記の通り)

- そのほかに、自主企画ワークショップにも参加し、小西浩嗣講師、植田有香講師、西野昌美講師、石堂達也さんらが「教育現場におけるアドベンチャー・カウンセリングの実際②」を、別のワークショップとして「企業におけるカウンセラーの組織への関わりを考える」では、森下教授が指定討論者を務めました。
- 川合 悟教授 題目:『PC-EYE:人間の「眼」をもつコンピューター』
- 森下 雄輔さん 題目:『集団間状況の違いによるリーダー・プロトタイプ像の変化』(谷口准教授共同)
- 吉村 友希さん 題目:『誰のための学生サポーターか?』(神澤教授共同)
- 柳澤希緒子さん 題目:『絵本が大学生の精神的健康に及ぼす影響』(神澤教授共同)
- 西村由美子さん 題目:『親との関わり方が大学生の友人関係に及ぼす影響』
- 福田 紗希さん 題目:『恋愛トラウマが男性の恋愛観・恋愛行動に及ぼす影響』
- 西澤 和佳さん、中川 拓也さん、野田 智美さん 題目:『企業従業員におけるストレスへの媒介変数の影響』(森下教授共同)

### 経済学研究科 経済学専攻 税理士資格取得を目指して

経済学研究科の「税理士志望コース」は、専門職の税理士としての能力を身に付け、「税制」あるいは「会計」に関する修士論文を作成し、税理士資格取得を目標とするコースです。本コースには、税理士を志望する学生のための充実したカリキュラムが編成されており、税理士にとって必要な基礎科目に加え、専門演習によって修士論文作成を指導します。



本コース内に、租税論特論(税法)を受講し、少人数クラスで財政学特論演習において論文作成を個別指導する「税制サブコース」と、簿記特論を受講し、財務会計論特論演習において論文作成に集中する「会計サブコース」が置かれています。現在では、20名を超える修了生が、税理士として活躍しており、本コースでは、税理士の資格取得を目指して、学生だけでなく社会人の方も日夜勉学に励んでいます。

今年4月に入学した乾 充隆さんは、税理士事務所勤務しながら通学しています。仕事で、税理士資格取得の必要性を感じ、「働きたがら、効率よく税理士の資格を取得したい」と思い、本学大学院への入学を決めました。乾さんは、2年間で会計情報分析や、国際経済、金融論や財政学などについて学び、修士論文を国税局に提出し、税理士資格取得を目指します。

法政策研究科 世界経済法制専攻 長期インターンシッププログラムの開発に携わる

### 法政策研究科 世界経済法制専攻 長期インターンシッププログラムの開発に携わる

法政策研究科 世界経済法制専攻では、平成18年度に文部科学省選定事業となった「マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成プログラム」に取組んでいます。本プログラムは、コンテンツ分野(映画、放送、音楽、漫画、アニメ、キャラクター、モバイルコンテンツ、ゲームソフト等)において、その開発から活用・管理までの総プロセスに対応できる法・経営・政策に強い「マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成」を目的とし、関西圏企業との産学連携により、企業の知財ニーズに応える派遣型の国際的・学際的な人材供給システムを構築する新しい長期インターンシップモデルです。



法政策研究科では、本学院生を企業に派遣し、派遣先の課題に取組ませた結果としての成果物を各企業に提出させています。企業のニーズの応えられる知的財産に関する知識と、さらに政策・経営についての知識も求められる本プログラムにおいて、本学では、年々実績を積み、派遣先企業数も拡大してきました。今年度は、海外インターンシップも実現し、7月24日から30日の6日間、協定校である韓国の東西大学校及びコンテンツ関連企業を視察しました。東西大学校では、最近のコンテンツ制作の理論と実務の状況について、同



大学の担当教授と学内外ベンチャー企業の実務家から種々の教示をもらっていました。

11月頃から、興味をもった企業にエントリーを開始し、キャリアセンターに事あるごとに通いました。履歴書をチェックしてもらったり、面接の練習をしたり。応募する企業ごとに志望動機が少しずつ違ってくるので、そのあたりもしっかりチェックしてもらいました。あとキャリアセンターが主催するイベントが、授業と重複して参加す

こまめに通う。

私が、就職活動を本格的に始めたのは、3年生の秋頃からです。それまでは、自分が興味のある企業のホームページを見て研究していました。2年生の時から、本命の「伊賀の里モクモク手づくりファーム」(以下「モクモク手づくりファーム」)がインターンシップを受付けていることを知っていましたので、まず、9月に「モクモク手づくりファーム」のインターンシップに参加しました。インターンシップは、10日間で、いろいろな部署を順番に回って、会社の業務全体のイメージを掴むといった内容でした。農作業も経験し、「食」の原点を知ることができ、とても面白い経験でした。

まずはインターンシップで、イメージを掴む。

# 本命企業含む 3社から内定獲得!!

政岡

由布子さん

(現代生活学部 食物栄養学科4年)

ることができなかった時は、そのときに使用した就職対策のDVDをあとで見せてもらったりもしましたね。本当にいろいろな相談に乗ってもらったと思います。

自分を磨いて、  
会社にアピール。

筆記試験対策は、「食」に関する業界ということもあり、どちらかといえば、「管理栄養士」の国家試験の内容に似た問題が出題されることが多かった。国家試験対策の問題集を解きました。「管理栄養士」という職に就かなくても、業界的に「管理栄養士」の知識が求められることを実感しました。来年3月にある管理栄養士の国家試験を受験するのですが、合格して自分のキャリアに活を付けたいです。面接では、給食経営管理実習で培ったチームワークについてアピールしました。この経験を活かして、職場でもチームの雰囲気やいい方向に持っていきけるような人材になりたいです。

就職活動をふり返って…

興味をもったいろいろな企業を受けました。就職活動を終えた今、ふり返って見て、やっぱり結果的に上手くいかなかった企業を受けにいったときは、準備がしっかりできていなかったと思

## 政岡さんおススメの本

会社のホームページなどではわからない業界情報を知ることができます。「現実」を知った上で、自分が就きたい仕事は何なのかを見つめ直すきっかけにもなります。



います。第一志望の企業でないのを理由に、下調べや事前の準備が不足していた部分もあって。たとえ第一志望でなくても、本気で臨む姿勢が大切だと思いました。「モクモク手づくりファーム」で働く部署は、入社してから決まるのでまだわからないのですが、食育イベントを企画したり、新規レストランのメニュー開発や、イベント企画に関りたいです。

2010年	2009年
6月2日 D社 最終面接 モクモク手づくりファーム 二次面接+懇親会	9月 モクモク手づくりファーム インターンシップに参加(10日間) リクナビ、マイナビに登録
5月16日 モクモク手づくりファーム二次面接	11月 興味をもった企業にエントリー開始 キャリアセンター本格活用開始 履歴書チェック、模擬面接等
4月7日 C社二次面接 モクモク手づくりファーム一次面接 C社最終面接 D社一次面接	12月 履歴書チェック、模擬面接等
3月8日 C社説明会+筆記試験 A社最終面接 A社内定	1月13日 A社説明会参加 A社一次面接 A社二次面接
2月26日 B社説明会参加	1月19日 D社説明会+筆記試験 本命 モクモク手づくりファーム 説明会参加
1月17日 A社内定	
1月9日 A社最終面接	
1月24日 D社説明会+筆記試験 本命 モクモク手づくりファーム 説明会参加	
1月28日 本命 モクモク手づくりファーム 説明会参加	



政岡 由布子さん  
(現代生活学部 食物栄養学科4年)

# 三井住友銀行

卒

業

生

紹

介

株式会社三井住友銀行 天王寺ブロック  
**井上 正夫さん**  
法政策学部※ 2008年卒業  
(大阪府立泉北高等学校出身)  
※2010年4月法学部に改組

**コミュニケーション能力を身につける。**

学生時代は、法政策学部で法律の勉強に励みました。憲法・民法・刑法などの授業を通じて学習レポートを提出したり、法律に関する検定試験を受け、自身の理解度を上げることに努めました。また、接客業など数多くのアルバイトをしていたので、「コミュニケーション能力が身につく」、お客さまのために自分が何かして、感謝してもらえ喜びも経験しました。

この経験は、現在の仕事でも活かしています。初めて面談するお客さまとも、

**キャリアセンターを活用する。**

帝塚山大学の就職に対する支援制度が整っていることに魅力を感じ、入学しましたが、実際就職活動が始まると、キャリアセンターにはお世話になりました。特にキャリアセンターの吉識先生には、自分自身を見つめ直す良いきっかけを頂き、自己分析のアドバイスや様々な相談のついで頂きました。先生に紹介いただいた「目くばり、心くばり、気ばらき」という本は、今でも大切にしています。

**大学での経験を仕事に活かす。**

何社か企業を調べましたが、仕事で住みやすい・老後の生活・お子様のことなどお客さまにとっての様々なライプランに対して、何が出来るのか考え提案し、コンサルティングができることに醍醐味を感じ、三井住友銀行に就職を決めました。

現在は、天王寺ブロックで地権者のお客さまのコンサルティングを担当していますが、私よりも何年も人生経験が豊富なお客さまの悩み・ニーズは何かを考え、お客さまと一緒に、「これから」を考えていくことに魅力を感じています。また、なかなかお客さまが心を開いて頂けなかったり、お会いして



「これから」を考えていくことに魅力を感じています。また、なかなかお客さまが心を開いて頂けなかったり、お会いして

**Q 尊敬する人は?**  
A イチロー選手。身の回りのモノを大切にする姿勢や、仕事に対するメンタルコントロールなど、感銘を受けるところがたくさんあります。

**Q 最近読んだ本は?**  
A 「働き方」(稲盛和夫著)  
本の中の、「無我夢中になるまで打ち込んでみる。働くということとは試験を克服し、運命を好転させてくれる、まさに「万病に効く薬」である」という言葉が、特に印象に残っています。

今の私、そして、これからの私にとって最も自分自身に律していかなければならないことであると感じました。

**後輩へのメッセージ**

例えば、クラブ活動や所属の学部・学科での勉強など、学生時代にしかできないことを数多く経験することが大切であると思います。私自身、留学の経験がないので、海外で半年でも自分の磨きの留学をしてみるのも一つであると思います。がんばってください。

頂くことすらできないことも多々ある中で、そこは難しいところであると感じています。

お客さまのため、また銀行のために、自分が何をできるのかを考え、行動することを心掛けています。

しっかりと事前準備をし、面談することでお客さまの信頼を得ることができ、お客さまに心を開いて頂けると信じています。

お客さま・上司・仲間からも信頼され誰からも相談される銀行員になりたいですね。

**公務員面接対策  
ガイダンスを開催**

10月5日、東生駒キャンパス9号館「まほろば」にて、これから行なわれる公務員採用試験の面接対策として、公務員面接対策ガイダンスを開催。4年生だけでなく、2年生、3年生を含めた約70名の学生が参加し、関心の高さがうかがえました。ガイダンスでは、橋本キャリアセンター職員による自身の体験も踏まえた公務員試験の面接でのポイントが解説され、参加した学生は、熱心にメモを取っていました。



**「新聞から社会」のなかを学ぶ」  
「新聞から社会」のなかを学ぶ」を開催**

月に一回のペースで東生駒キャンパス1号館にて、読書新聞社の協力によるマスコミ講座「新聞から社会」(よのなか)を学ぶ」を開催しています。

本講座は、読書新聞の現役記者による、読書新聞を教材にした10回のリレー講座で、政治・経済・社会・文化・生活・スポーツ等の各テーマについて、新聞記者の視点でニュースを解説、新聞の読み方を説明します。

進路指導や就職活動の準備に役立つ情報が満載で、全学部から約50名の学生が受講しています。



**キャリアセンターへ行こう!**

昨日、「大学生に覇気・意欲がない」「自立性・積極性を持っていない」という話をよく聞きます。それは、学生にその力がないのではなく、自分を出す機会や方法が見つけれないのだと考えられています。キャリアセンターは、単に就職活動の支援をしているのではなく、社会人として必要とされる「ビジネスマインド」を常に意識して学生と対応しています。

当センターでは、入学時から充実した大学生活を送ってもらうために、授業はもちろん、クラブ・サークル活動、アルバイトなどについてアドバイスし、いかに将来の自分が輝くものになるかを一緒に探していきます。

4年間の大学生活を卒業すると、大学院に進む道もありますが、本学の場合ほとんどが一般企業に就職します。しかし、卒業後に正規雇用の社会人に就いていない人は年々増えています。それは、冒頭にも述べたように、できないのではなく、機会や方法を見つけれないからです。

キャリアセンターのメンバーは、個人面談を中心としたそれぞれに合ったアドバイスができるような体制を整えています。進路等について気軽にキャリアセンターをご利用ください。

キャリアセンター課長  
**福岡 雅実**

# クラブ・サークル

## 活動

### クラブ紹介

#### 硬式野球

#### 1部3位で全日程を終了!!

阪神大学野球連盟の秋季リーグ戦で、硬式野球部は、第2節、第5節と勝ち点をあげ大健闘。結果として、5勝7敗、勝ち点2、勝率4割1分7厘となり、1部3位で全日程を終了しました。今期活躍した選手として、同部から炬口 広光選手(4年)がベストナインに選ばれ、表彰されました。



#### 女子バレーボール

#### 3部リーグでも健闘!!

今季3部リーグへの昇格を果たした女子バレーボール部は、関西大学バレーボール連盟女子秋季リーグ戦3部において、3勝4敗の5位で全日程を終了しました。

10月24日に行われた最終戦では、京都教育大学と対戦し、セットカウント3-0で勝利を収めるなど、今季リーグ戦では、フルセットの試合も経験、接戦の末勝利を手中に収めた試合もあり、選手全員が大きく成長することができました。



#### 男子ラクロス

#### 3部リーグBチーム1位 総合2位で大健闘!

8月14日から11月13日に亘って開催された第21回関西学生ラクロスリーグ戦で、男子ラクロス部は、第3部リーグBブロックで第1位、総合で第2位の成績を収めました。また、主将の垣谷英宏選手(経済学部4年)が、各大学キャプテンの投票で決定するベスト10とアシスト王に輝きました。



#### レスリング

#### 西日本秋季リーグ戦 2部リーグ5位で最終戦終了

12月4日~5日、大阪・金岡公園体育館において西日本学生秋季リーグ戦が開催され、帝塚山大学は2部リーグに参戦しました。大会前に、84kgのレギュラーを怪我で欠いた今大会。苦戦の連続でしたが、1年生の踏ん張りや安定した上級生で混戦を戦い抜き、何とか5位に収まりました。



今年度は、春季リーグ準優勝に始まり、新人戦4位、西日本学生選手権5位、国民体育大会出場と、結果を出せた1年でした。来シーズンは、秋季5位をバネに、チーム一丸で奮起します。

#### ボクシング 第80回全日本アマチュアボクシング選手権大会 近畿ブロック大会3位入賞

9月10日に和歌山県立体育館で開催された全日本アマチュアボクシング選手権大会・近畿ブロック大会(関西アマチュアボクシング連盟主催)に、本学ボクシング部主将の今藤文也選手(英語文化学科3年)がバンタム級(56.0kg以下)の奈良県代表として出場し、3位入賞を果たしました。本学から近畿ブロック戦出場は2年ぶり3度目で、3位入賞は創部以来2回目の快挙です。



今藤さんは大学入学後からボクシングを始めましたが、1年生の時に練習中に肩を脱臼する怪我を負い、一時期引退。しかし復帰を目指してウェイトトレーニングを取り入れたリハビリを地道に続けてきた結果、1年後に現役に復帰しました。現在は秋季シーズン最終戦の「大阪学生選手権大会」に出場しており、順当に勝ち進んでいます。また彼は学生ボクシング連盟の委員長を務めており、加盟大学のリーダーとして大会開催の采配を振るいながらも自ら1選手としてリングに上り続けています。

### サークル紹介

#### スポーツ栄養研究会

スポーツ栄養研究会は、現代生活学部食物栄養学科の学生によるサークルで、みんなでスポーツ栄養学を学んでいます。同研究会の活動一つとして、京都・伏見工業高校ラグビー部への栄養指導訪問があります。もともと同研究会所属学生の弟が伏見工業高校ラグビー部の部員だったという縁で始まったこの活動ですが、もう2年間継続して実施しています。年に6回のペースで伏見工業高校に向き、ラグビー部員への栄養指導や普段の食事の記録調査、健康管理についての説明などを行っています。

そして今年の冬は、伏見工業高校ラグビー部は見事全国高等学校ラグビーフットボール大会への出場が決まり、同研究会のメンバーも大喜びしました。活動が一つ実を結ぶことになり、同研究会のメンバーは揃って、花園ラグビー場まで応援に行く予定です。

また、今年の夏からは、本学レスリング部への栄養指導も始めています。スポーツ栄養研究会は学内外を問わず、今後も様々な活動を行っていきます。



#### 冬の風物詩 冬季イルミネーション

今年も、東生駒・学園前の両キャンパスにおいて、冬季イルミネーションを実施しました。

東生駒キャンパスでは、帝塚山大学のシンボル、時計台の周辺の木々にイルミネーションを実施。約3,000球のブルーとホワイトの電球のイルミネーションが点灯し、冬の夜の雰囲気を盛り上げました。

学園前キャンパスでは、イルミネーション実行委員会の学生がデザインから飾り付けまでを担当し、駅正面の16号館入り口デッキから屋上、はとの広場を中心にイルミネーションを実施。初日の12月2日には、17時から点灯式を行いました。



東生駒キャンパス



学園前キャンパス

#### マナーアップキャンペーン 実施中!

東生駒キャンパスでは、学生生活課が中心となり、10月1日~10月7日、11月29日~12月3日の間、キャンパス内でのマナー向上を図ることを目的に、教職員が昼休みの時間に巡回、あわせて有志の学生ボランティアが、タバコの吸殻などのゴミの清掃活動を行いました。同キャンペーンは、東生駒キャンパスの学生のマナーアップと、キャンパスの美化を推進するため、11月17日~21日の間も行います。



# 研究室訪問



心理福祉学部 心理学科  
もりした たかひろ  
**森下 高治 教授**  
関西学院大学大学院  
文学研究科教育心理学専攻  
博士課程修了

産業カウンセリング、職業適性、職場ストレスの研究者であり、流通科学大学教授を経て、現職。専門は、生涯発達心理学、応用心理学、職業行動・職業心理学。特に、生涯発達のなかで自らの生き方、あり方をどのように求めているか、働く人たちの職業行動の問題を調査研究と実践(カウンセリング)の両面から取り組んでいる。著書に、「仕事とライフ・スタイルの心理学」(福村出版2001年)、「産業心理臨床入門」(ナカニシヤ出版2006年)など。

●先生が、この分野に進まれるようになったきっかけについて、教えてください。

大学院での専攻は、教育心理学領域でしたが、産業界・職業領域に強い関心をもって学部時代から職業適性に関わる適応、不適応の問題で、指導教授や大学院の先輩とともに働く人たちの現場に出る機会に恵まれました。

学部時代に、この領域では著名なコロンビア大学教授のスーパー博士について書物でよくみていましたが、なんと修士1年の冬にスーパー博士が来日し、指導教授と一緒に、大阪中之島にある日本生命研修所で開催された特別記念講演で直に会い、感動したのを覚えています。本に出ていた活字のスーパー博士、実際、目の前で講演のスーパー博士、しかも専門の話は大いに刺激を受けました。今でも覚えています。

が、そのときの感動した話は、職業適性の問題でした。人の内面的な、主体的条件は対職業の適合を左右するの大きなテーマでした。学部の4年生の時から、働く人たちの適性問題を手が

けていたもので、興味、関心は最高に達していた。タイムリーな来日でした。その後すぐに、スーパー博士の弟のクライックが「Vocational Psychology」を刊行し、そこから出ていた Vocational Behavior が私の生涯の研究テーマです。

やがて、大学院博士課程を修了し就職の道を進み始めましたが、一方でフィールドを中心とした青年の進路・キャリア問題、在職者の適応問題、のちに在職者のライフ・スタイル問題に、取り組むようになりました。

フィールドでは、特に在職者のライフ・スタイルの国際比較研究に取り組み、あわせて適応の前提となる適性問題は、2006年にオランダのSDSの日本版の改訂版(SDS-S)を自己診断テスト)を公開しました。そして、これと別途に、1973年からは在職者のカウンセリングを手がけ今日に至っています。

●ゼミで心がけてほしいこと、教えてください。

今年のゼミは、三年生と四年生合同でコンパを開いたりして、交流を盛んに行っています。今回の「研究室訪問」にあたり、学生たちに、「森下ゼミを色で例える」と聞いてみた

のですが、黄色とか、クリーム色とか、水色とか黄緑という声が多く挙がっていました。ゼミ生が言うに「緑」で、おおおと成長している感じだそうです。ちなみに形容詞は、「のびのび」「面白」でした。

●先生のお人柄ができていますね。ところで、昨年に大学院連合メンタルヘルスセンターを設立され、そちらの代表理事としても活躍されていますが、同センターでは、どのような活動をされているのでしょうか?

2009年11月に帝塚山大学、帝塚山学院大学、関西福祉科学大学の3大学院は、昨今の社会的問題になっている働く人たちのメンタルヘルス問題に取り組みするため、各大学及び各法人の支援を頂き、大阪府の認証を得て、大阪市北区中之島の帝塚山大学サテライトキャンパスにオフィスを設けました。

●臨床心理士や、産業カウンセラーを目指す学生に対して、アドバイスをお願いします。

臨床心理士を目指す人は大学院に行く必要があります。カウンセラーは、ひとに対して影響力のある大切な仕事です。そのためには幅広い勉強が求められます。また、産業カウンセラーは、(社)日本産業カウンセラー協会の研修に参加し力をつけ、経験を積まないと資格があってもすぐには通用しません。

●最後に学生へのメッセージをお願いします。

この夏、インターンシップに出かけたゼミ生、クラブで毎日励んだゼミ生、また、大学主催の語学研修でアメリカオレゴン州のポートランド州立大学に行ったゼミ生、学術協定のパラオ共和国のドルフィンズバスフィッシュに研修に出かけたゼミ生、エジプトにボランティアに行ったゼミ生、就活のためしっかりと備えたゼミ生がいて、充実した夏を過ごしたようです。大学時代にはいろんな体験をすることで、ひと回りもふた回りも自分自身を大きく成長させます。自己研鑽を積みむことが大学に来た大きな収穫ですね。

### ゼミ生からみた森下ゼミ

#### 4年生堀内君にインタビュー

森下ゼミは、ゼミ生たちがゼミの空気を作っていて、それを先生がうまくみんなに行き届くように配っているみたいな感じなんです。私たち4年生は、3年生の頃から、たまにお土産を持ってきたり、誕生日にはケーキを持ってきたりして、毎回コミュニケーションがあふれています。

ゼミの授業にしても、先生は一つひとつの話に対して、ゼミ生みんなに意見を聞きます。自分の経験や考えを話したり、時には理解しにくい内容に対してはその話がわかっているのかを聞いた、わからない話には大学院生や理解しているゼミ生に説明するように促して、全員が理解できるように工夫されていると感じます。刺激も豊富で、毎回考えるという力が鍛えられているのではないかと思います。



●4年生●



●3年生●



### 観光経営コース 近畿日本鉄道グループによる「観光ビジネス入門」開講

帝塚山大学では、2010年4月、経営情報学部にて「観光経営コース」を開講しました。そのことを記念して、経営情報学部では、近畿日本鉄道グループによる提供講座「観光ビジネス入門」を、9月30日から1月27日までの毎週木曜日第4限に、合計15回開講しています。9月30日に行われた初回の講座では、近畿日本鉄道株式会社 取締役社長 小林 哲也氏にご担当いただき、「鉄道と観光ビジネス」と題して、鉄道事業戦略とその中での観光ビジネスの位置づけ及び発展について、講義いただきました。

講義では、まず「易経」の「観光之光、利用實于五」（国之光を觀る王に實たるに用いるに利ろし）という言葉を用いて、観光の定義について触れ、鉄道事業戦略の概要や、実例として、近畿日本鉄道の商品「まわりゃんせ」や、近畿日本ツーリストの企画を紹介しながら、近畿日本鉄道グループの経営戦略と観光ビジネスについて、お話いただきました。



そして、平成遷都1300年祭後の奈良観光の活性化など、今後の鉄道事業と観光ビジネスの方向性についてお話いただき、最後は、質疑応答で講義を締めくくりました。

第2回目以降は、近畿日本鉄道グループ各社の方に、観光ビジネスの現場について、最新の実情等を様々な角度から講義していただいています。観光ビジネスの最前線に直接触れることで、更なる学習意欲の向上や将来設計への大きな成果が得られることを期待しています。

### 教員表彰

#### 第26回 佐藤栄作賞佳作受賞 末吉 洋文准教授

(法学部 法学科)

論文テーマ：「核兵器廃絶の可能性を述べよ―国連の役割はなにか?」  
※「佐藤栄作賞」は、故佐藤栄作元総理大臣が、1974年に受賞した、ノーベル平和賞賞金を基に設立された「佐藤栄作記念国連大学協賛財団」事業の一環として行われている国際コンテスト。同賞は、1980年に創設され、1990年以降毎年開催されています。

おめでとう  
ございます



#### 第50回 演劇教育賞受賞

渡辺 貴裕准教授

(現代生活学部 こども学科)

受賞対象：雑誌「演劇と教育」に昨年1月から10月まで掲載した「授業で活かす 演劇的活動のチカラ」  
※演劇教育賞は、「日本の演劇教育活動で、子どものための戯曲や演劇教育の研究・実践に関して、特にすぐれた人」に、日本演劇教育連盟より贈られます。



#### 日本スポーツ心理学会 第37回大会 優秀論文奨励賞

田中 美史講師

(経済学部 経済学科)

共同研究論文：「プレッシャーが全身協応運動に及ぼす影響」

#### 第61回 日本体育学会 奨励賞

共同研究論文：「『あがり』の発現機序の質的研究」



### 保護者懇親会・保護者相談会が開催されました

保護者の皆様に大学の教育活動やご子息・ご息女の在学状況を知っていただくことを目的とした保護者懇親会・保護者相談会が、10月から12月にかけて開催され、合計約350名の保護者の方々にご参加いただきました。

10月17日にホテルグランヴィア大阪を会場に開催された保護者懇親会は、昨年度とは趣向を変え、保護者の皆様の組織である保護者後援会の主催という形で開催されました。参加された約150名の保護者の方々は、学長、副学長、学部長を始めとする本学教職員と、立食形式での軽食を摂りながら和やかに懇親を行いました。また、11月20日、21日には、本学会場(東生駒キャンパス・学園前キャンパス)を会場に保護者相談会が開催され、約200名の保護者の方々に参加いただきました。相談会では、学長、副学長による挨拶、大学の概要、教育の実践についての紹介が行われ、その後、各学部別の全体ガイダンス、学業、学生生活、就職、国際交流等に関する個別の相談、キャンパス見学ツアーが行われました。11月27日、12月4日、5日には、福岡、高松、名古屋、広島、岡山、大阪、東京の各会場でも保護者相談会が開催されました。



保護者の方々と大学教職員の「絆」を深めるための保護者会は、大学後援会のご支援により毎年開かれ、日ごろ大学を訪れる機会の少ない保護者から好評を博しています。

### 表紙の人

#### 中西 晶大さん 経営情報学部 経営情報学科 4年 ネットワークコンテスト「conf-t」で最優秀賞!!

帝塚山大学は、2008年より全国に先駆けて日本発のネットワークコンテストを開催しています。9月4日、その姉妹企画として青山学院大学にて、ネットワークコンテスト「conf-t」が開催され、中西 晶大さんが見事最優秀賞に輝きました。

2年生の時、経営情報学部 日置教授の「ネットワーク特別演習」をきっかけに、ネットワークに興味をもったという中西さんは、サークル「コンピュータ・ネットワーク研究会」でも、後輩を引っ張っていく頼もしい存在です。難関資格のCNAも取得している中西さんは、同コンテストでの活躍も功を奏して、日本の商用プロバイダにおいてパイオニア的存在である業界最大手の株式会社インターネットイニシアティブの内定を勝ち取りました。同社での今後の中西さんの活躍が期待されます。



写真：コンテストの様子  
コンテストでは、一人で、ルーター、スイッチ各3台のコンピュータ設定を4時間かけて行い、ネットワークの構築技術を競いました。

#### 訃報 帝塚山大学 矢島 幹雄 名誉教授 ご逝去(享年86歳)

帝塚山大学名誉教授 矢島 幹雄(やじま みさお)氏が、7月22日ご逝去されました。

矢島名誉教授は、南山大学英语英文学卒業後、名古屋大学大学院英文学専攻科修士課程、アメリカ・ダラス神学校神学修士課程を経て、昭和39年4月に、帝塚山大学開学と同時に教養学部講師として着任され、昭和41年11月に助教授、昭和47年4月からは教授を務められました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 第8回高校生ビジネス・アイデア・コンテストを開催しました

11月28日、本学東生駒キャンパスにおいて、経営情報学部・経済学部・法学部インキュベーションプロジェクトチーム主催による「第8回高校生ビジネス・アイデア・コンテスト」入賞者によるプレゼンテーションおよび表彰式を開催しました。8回目となる本コンテストは、身近な生活の中から商品・サービス・システムに関する新鮮でユニークなアイデアを考案する面白さを高校生に実感してもらい、これからの社会を動かすのは自分達であることへの自覚を促すことを目的としたものです。当日は、上位入賞者10名がパワーポイントを使用して、各自のアイデアをプレゼンテーションし、11名の審査委員および学生を中心とする会場の聴衆による投票の結果、各賞を決定しました。



最優秀賞に選ばれた畠山亜美さん(大阪市立淀商業高等学校3年)は、収録したビデオレターを未来の自分や友人、子どもなどに贈る会社を設立、運営するプランについて、音楽や動画を交えた非常に効果的なプレゼンテーションを行いました。表彰式を終え、「発表は本当に緊張しましたが、無事終わることができてほっとしました。プレゼンが決まってからは検定試験の傍ら、集中して作業にあたり、友人や家族に発表を何度もみてもらった成果が出ました」とのコメント。審査委員長の本木良一学長からは「今回は人を思いやることをテーマにしたアイデアが多く見られ、また、資料作成能力やプレゼン能力もかなり高度なものだった」との総評がありました。

本年は1,341件の応募があり、上記のほかに優秀賞、奨励賞、佳作等各賞が贈られました。また、全校をあげて積極的な応募のあった学校28校に対しては、団体協力賞が贈られました。

賞	テーマ	氏名	高等学校名	学年
最優秀賞	未来の○○へビデオレター for you	畠山 亜美	大阪市立淀商業高等学校	3年
優秀賞	もう左利きでも不便利じゃない!両利きマウス	児島 玲奈	大阪府立金剛高等学校	3年
奨励賞(3名)	CARさ	堀岡 久恵	京都府立木津高等学校	2年
	地域型生ごみリサイクルサービスの導入	外村 璃絵	同志社香里高等学校	3年
	安全に備えよう!緊急バンド	西村 真里	京都府立京都すばる高等学校	1年
佳作(5名)	駅の音声券売機	清水 里穂	京都府立京都すばる高等学校	1年
	盲導ナビゲーター	小野松 咲	大阪府立扇町総合高等学校	2年
	コインロッカー式便利屋事業	松信麟太郎	函館ラ・サール高等学校	3年
	賞味期限タイマー	工藤 愛花	奈良県立榛生昇陽高等学校	1年
	アクは悪?鍋の味方アク取り代官	元井 裕登	大阪府立金剛高等学校	3年
努力賞	43名			
もう一歩賞	90名			

### 職員紹介

教学支援課 人文・人文科学部人文科学事務室(東生駒キャンパス) 岡村 浩司



人文・人文科学部では、「学外実習」や「臨地講義」と呼ばれる学外授業を年間通じて数多く行っています。これら学外授業の行き先や集合時間・場所などを掲示物にして学生の皆さんに案内するのも人文・人文科学部事務室の仕事の一つです。今年も既に、京都・葵祭見学、国立文楽劇場・文楽鑑賞、飛鳥遺跡探訪、香川・こんびら歌舞伎鑑賞、祇園祭見学、正倉院展見学、東大寺英語観光ガイド実習...など20回超の学外授業が行われました。いろんなところに行ける学生の皆さんがちょっぴり羨ましくもありますが、今後もより多くの「本物」に触れてもらえる機会を提供していきたいと思ひます。

### 多摩大学と「学術交流に関する包括協定」を締結、寺島実郎特別客員教授による特別公開講座を実施

11月29日、大阪商工会議所にて、本学と多摩大学は「学術交流に関する包括協定」を締結しました。

締結式では、冒頭に帝塚山学園・帝塚山大学の山本理事長より、本協定に至る経緯、及び意義を交えた挨拶があり、引き続き、田村学園・多摩大学の宮地事務局長より、今後の展望も踏まえた挨拶が行われました。その後、帝塚山大学 山本学長と多摩大学 寺島学長が協定書に署名し、今後の双方の協力を誓い、握手を交わしました。寺島学長からは「両大学は、共通性のある学部・学科を設置しているため、東と西で協力しあって、何か新しいことを実施したい」と、今後の両大学の発展に向けたコメントがありました。両大学にとって、国内の大学との1対1の関係で包括的な学術交流協定を結ぶことは、初めてのことです。本協定をもとに、本学と多摩大学は、両大学の組織的な連携・協力を推進し、学生・教職員の交流促進、ならびに地域社会への貢献を積極的に推進していきます。また、同日に、寺島特別客員教授による特別公開講座を、大阪商工会議所にて開催し、500人を超える一般の方にご参加いただきました。

講演では、まず「オバマ敗北」で終わった米中間選挙の総括から「米国の産業構造が劇的に変化し、大きな雇用を生まなくなっている。日本も同様に、貿易先が米国からアジアへ重層的に向かっている一方で雇用創出が難しくなっている状況」と述べ、日本は今、資産デフレと低所得層の急増、年収減少でサラリーマンの生活も劣化して、全体がずり落ちている有様だと分析。続いて、「世界の対外純資産力、人材、技術力など、日本は本来持っているポテンシャルを生かさなければならぬ。裾野にシナジーを生



む飛行機などプラットフォーム型産業など新しい部門を起こすことに力を入れることが重要だ」と強調しました。帝塚山大学では、来年度も、寺島特別客員教授による公開講座を開講する予定です。

### 大阪府立子どもライフサポートセンターと帝塚山大学のアドベンチャーカウンセリングによる教育支援に関する協定書締結

10月8日、大阪府立子どもライフサポートセンターと帝塚山大学は、アドベンチャーカウンセリング(Adventure-based counseling)による教育支援。以下「ABC教育支援」による教育支援に関する実践技術の向上と、学術研究の推進及び対象となる児童の社会的成長に貢献するため協定を締結しました。

これにより、ABC教育支援に関して、互いの研究・実践活動に協力し、既存のABC教育支援の充実及び独自のプログラムの開発・普及に、共同で取り組んでいきます。



教学支援課 経営情報学部事務室(東生駒キャンパス) 小館 いずみ



東生駒キャンパス教学支援課で、経営情報学部の教務事務を担当しています。大学の4年間は、自分が興味を持ったことを深く学び、追究できる貴重な時間です。一つのことを徹底的に学んでみてください。その中で、自分自身の新たな一面を発見し、視野を広めることができるはずです。この大学で自分自身を磨いてください。

公開講座

詳細は大学ホームページで告知しています。

詳細はこちら: <http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>

経済学部・経営情報学部・法学部公開講座「シニア・カルチャー」

- 聴講無料 要申込 (各回申込先着順 180名)
  - 会場: 帝塚山大学 東生駒キャンパス 6号館 6201教室
  - 時間: 10:30～12:00
  - 受講可能な方に講座の1週間前を目処に受講票をお送りします。
- 第1回 2011年1月22日(土)  
演題: 「ことば集め、言葉あそび(英語)」  
講師: 坂野 勝彦 (帝塚山大学 法学部・法政策学部ビジネス法学科教授)
- 第2回 2011年1月29日(土)  
演題: 「知っているようで知らない日本旅館: 女将のおもてなし」  
講師: 姜 聖淑 (帝塚山大学 経営情報学部経済情報学科 准教授)

【申込・問合せ先】

※はがき、FAX又は、インターネットからお申込下さい。  
 【インターネット】帝塚山大学ホームページ (<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>) から希望の講座をクリック。[申込みフォーム] より必要事項を入力してください。  
 【はがき・FAX】①講座名、②郵便番号・住所、③氏名(フリガナ)、④電話番号・FAX番号・E-mail(あれば)、⑤年齢・性別を明記の上、帝塚山大学 公開講座係までお送りください。  
 ※往復はがき不可  
 帝塚山大学 企画・広報課 公開講座係  
 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL:0742-48-9192 FAX:0742-48-9030

帝塚山大学 現代生活学部 子ども学講座

- 聴講無料 要申込 (各回先着順 100名)
  - 会場: 帝塚山大学 学園前キャンパス 18号館講義室
  - 時間: 14:00～16:00
- 第5回 2011年1月22日(土)  
演題: 「子どもと病気」  
講師: 三上 貞昭 (帝塚山大学 現代生活学部子ども学科教授)
- 第6回 2011年2月19日(土)  
演題: 「子どもの発達のだらみ」  
講師: 南 憲治 (帝塚山大学 現代生活学部子ども学科教授)

【申込・問合せ先】

※開催日の10日間前までにe-mail、またはFAXまたは郵便にてお申込み下さい。参加希望日、氏名(フリガナ)、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレスをお知らせください。  
 FAX:0742-88-6027 E-mail child@tezukayama-u.ac.jp  
 〒631-8585 奈良市学園南3-1-3 TEL:0742-88-6022  
 帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まつぼっくり

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館 市民大学講座

- 聴講無料 [申込不要]
  - 会場: 帝塚山大学 東生駒キャンパス 5号館 5104教室
  - 時間: 14:00～15:30
- 第1回 2011年1月22日(土)  
演題: 「室町時代の喫茶店 一服一銭」  
講師: 源城 政好 (帝塚山大学 人文学部日本文化学科教授)
- 第2回 2011年2月12日(土)  
演題: 「古代豪族と葬地」  
講師: 泉森 皎氏 (元奈良県立橿原考古学研究所附属博物館長)
- 第3回 2011年2月26日(土)  
演題: 「斑鳩法輪寺軒瓦からみた寺の造営」  
講師: 鈴木 久史氏 (京都市文化財保護課)
- 第4回 2011年3月12日(土)  
演題: 「仏像と仏舎利」  
講師: 関根 俊一 (帝塚山大学 人文学部日本文化学科教授)
- 第5回 2011年3月26日(土)  
演題: 「和銅4年の奈良朝政府 一崩壊と造営」  
講師: 甲斐 弓子 (帝塚山大学考古学研究所特別研究員)

【問合せ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館 TEL:0742-48-9700

帝塚山大学奈良学総合文化研究所公開講座 「名品・名作誕生Ⅷ」

- 聴講無料 [申込不要]
  - 会場: 帝塚山大学東生駒キャンパス 1号館 1301教室
  - 時間: 各回とも10:30～12:00 (開場10:00)
- 第1回 2011年2月19日(土)

- 演題: 「河原と芸能一洛中洛外図・四条河原遊楽図から」  
 講師: 源城 政好 (帝塚山大学 人文学部日本文化学科教授)
- 第2回 2011年2月26日(土)  
演題: 「役者の演技から見る歌舞伎の魅力～『勧進帳』を中心に～」  
講師: 伊東 航氏  
(帝塚山大学大学院 人文科学研究科日本伝統文化専攻博士後期課程)
- 第3回 2011年3月5日(土)  
演題: 「珠玉の平安蒔絵」  
講師: 関根 俊一  
(帝塚山大学 人文学部日本文化学科教授・帝塚山大学奈良学総合文化研究所所長)
- 第4回 2011年3月12日(土)  
演題: 「鑑真の手紙」  
講師: 西山 厚氏 (奈良国立博物館学芸部長)

【問合せ先】

帝塚山大学奈良学総合文化研究所  
 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL/FAX (0742) 48-8842  
 (月・水・金) 9:00～17:00

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館 シンポジウム 「有間皇子を考える」

- 聴講無料 [申込不要]
- 日時: 2011年3月20日(日) 9:30～16:00
- 会場: 帝塚山大学 東生駒キャンパス 6号館 6101教室
- 発表: 「有馬皇子と海南の地」  
矢倉 嘉人氏 (海南市教育委員会)  
「有間皇子の宮殿はどこか」  
清水 昭博 (帝塚山大学 人文学部日本文化学科准教授)  
「有間皇子事件の背景」  
甲斐 弓子 (帝塚山大学考古学研究所特別研究員)  
「有間皇子の墓はどこか」  
小賀 直樹氏 (元有田市文化福祉センター館長)
- 討論・司会: 森 郁夫 (帝塚山大学附属博物館長)

【問合せ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館 TEL:0742-48-9700

イベント情報

帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まつぼっくり 「親子教室」

- 親子教室では、各回テーマを設け、現代生活学部の教員の指導のもと、親子で遊ぶ快さを実感したり、親同士・子ども同士が交流し、コミュニケーションを深めてもらうための活動を行います。
- テーマ: 「親子ちょこっと体操」
  - 日時: 2011年2月26日(土)13:30～15:00 (部分参加可)
  - 講師: 岡澤 哲子 (帝塚山大学 現代生活学部子ども学科教授)
  - 場所: 帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター
  - 対象: 3歳以上就学前までの子どもと保護者
  - 定員: 20組 ●費用: 200円程度 (保険料含む)

【申込・問合せ先】

※開催日の10日間前までにe-mail、または電話(火・木・金9:00～15:00)にてお申込み下さい。参加希望日、保護者名、お子様のお名前、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレスをお知らせください。  
 FAX:0742-88-6027 E-mail child@tezukayama-u.ac.jp  
 〒631-8585 奈良市学園南3-1-3 TEL:0742-88-6022  
 帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まつぼっくり

オープンキャンパス

大学のこと、学部のこと、入試のこと、全部しっかり知ってください！  
 帝塚山大学をあなたの目と耳で体験できるオープンキャンパス。施設見学、体験授業、入試説明…。さまざまなイベントを用意してお待ちしています。高校生の皆さん、友達や保護者の方も誘って参加してください。

3 SAT 12:30▶15:00 学園前キャンパスで開催します。  
 ※詳細は大学ホームページでご確認ください。

【オープンキャンパス主なイベント】

- 入試説明会 先輩とトークD Eカフェ 個別相談
- キャンパス見学ツアー 学科別体験 学食体験 などを予定

【問合せ先】 帝塚山大学 入試課 TEL:0742-48-9149  
 E-mail nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

「けいはんな夢フェスタ2011」に参加します!!

- 日時: 2011年3月26日(土)・27日(日) 10:30～15:30
  - 会場: 学研奈良登美ヶ丘駅前
- このイベントは沿線住民と立地企業との交流の場として、楽しく豊かなお祭り空間を提供しようとするもので、帝塚山大学からは、大学吹奏楽部や放送研究会が3月26日の式典等に参加します。大学以外に、帝塚山学園が設置する幼稚園、小学校、中学校、高等学校も参加します。

キャリアセンター行事予定

●東生駒キャンパス

時期	対象	プログラム	内容
1月中旬	3年	第6回就職ガイダンス	学内合同企業セミナーの案内他
2月上旬	2年	2年生保護者対象就職説明会	
		就職活動のためのオープンセミナー①	営業講座
2月下旬	3年	就職活動のためのオープンセミナー②	エントリーシートの書き方、グループディスカッション
		筆記対策講座	
2月下旬		学内合同企業説明会	

●学園前キャンパス

時期	対象	プログラム	内容
1月中旬	3年	第8回就職ガイダンス	就職活動直前アドバイス/学内合同企業セミナーの案内他
2月上旬	2年	2年生保護者対象就職説明会	
2月中旬	3年	第6回就職オープンガイダンス	
		就職活動に役立つエントリーシート講座	
		第7回就職オープンガイダンス	
		就職活動に役立つグループディスカッション講座	

Tezmo 学生スタッフ募集

「Tezmo」とは帝塚山大学の最新情報がチェックできる受験生向けのモバイルサイトです！  
<http://tezmo.jp/>  
 キャンパスの最新情報や学生生活などをブログ形式で発信してくれる方を募集しています。

- ☆学生情報を発信したい方！
- ☆帝塚山大学をアピールしたい方！
- ☆ブログなどを書いてみたい方！



一緒に「Tezmo」を盛り上げましょう！詳しくは入試課まで  
 TEL:0742-48-9149 東生駒キャンパス 9号館1階

ヘルスチーム 菜良 × サークルK サンクス コラボ商品

販売時期 2011年3月8日～4月4日 4週間(予定)

販売店舗 サークルKサンクスの近畿2府4県の約900店舗

商品名: 現在検討中 価格: 未定

近畿2府4県のサンクスにて、お弁当を発売します!!

「菜良」にちなんで、お弁当の名前とパッケージには鹿が登場。イラストは、メンバーの戒井舞さん(食物栄養学科1年)が描きました。

試食の様子。提案メニューの試作品をサンクスに実際に作ってもらい試行錯誤を重ねました。

サンクスとの打合せの様子▶

現在、「ヘルシーさ」を求めて、健闘中です！  
 乞うご期待下さい!!

「私たちが作っています!!」

本学の食物栄養学科のサークル、ヘルスチーム菜良が、来春、(株)サークルKサンクスとのコラボ商品でお弁当を発売します。この企画は、ヘルスチーム菜良に所属する帝塚山大学、畿央大学、近畿大学、奈良女子大学が、それぞれ(株)サークルKサンクスとのコラボ商品を発売するというもので、本学は、お弁当を担当することになりました。

ヘルスチーム菜良の選抜メンバー20名は、お弁当製作のため9月から丸富隆弘氏(株)サークルKサンクス 商品本部 西日本商品部 関西地区 バイヤー)や、清水達夫氏(株)日本フーズデリカ 関西工場 商品開発課 課長)を交えて、打合せを重ねてきました。女性をメインターゲットに、カラダにやさしいお弁当開発のため、大学祭で一般の方を対象にアンケートを実施したり、市場調査をしながらお弁当のメニューを選定。自分たちの思いを商品化することの難しさや、商品をPRするコツなどを学びながら、試行錯誤を重ねて、お弁当の具材を決めました。そして11月25日には、自分たちの考えた「ヘルシー弁当」を、チームを代表して寺嶋晴香さん、伊藤圭祐さん、愛屋友季子さん(全員食物栄養学科3年)が、奈良県庁で奈良県健康福祉部健康づくり推進課の方々にはプレゼンテーションを行い、自分たちの企画をしっかりとPRしました。

このお弁当は、近畿2府4県のサークルKサンクスで3月上旬から4週間に亘って、店頭発売されます。「ヘルスチーム菜良」の自信作をぜひ食べてください!!



# 「スペイン短期語学研修10周年を迎えて」

(文／経済学部 経済学科 平山 篤子 教授)

スペイン国立バリャドリ大学と学術交流協定を結び、2000年

に初回を実施、これまでに7回学生を送り、合計で60人余りの学生が参加。後に大学の留学奨学金を得て6ヶ月留学した学生もいます。正式な名称は上記ですが、敢えて「海外体験研修」と呼びたいのです。立ち上げ・コーディネート・引率に携わってきた私の意識の中で、「語学」が占める部分は大きくありません。多くの若者がお金を払ってまで苦労したくない、と考える昨今、動機は様々ですが、「楽ちん」な日常生活を離れ、楽しい毎日は自己の努力で勝ち取る1か月の生活に飛び込む学生に拍手を送りたく思います。受け入れ大学や本学の人々に守られてとは言え、親元や大学での日常生活では7割方休眠可能な頭や心が、異境の地では正にフル回転。先ず心遣いがモノを言います。

「1日4時間の授業しかないの?」と楽勝ムードで出発したのが、宿題もあり、特に1週目

は正に必死の形相、「頭、沸騰してるわ!」、本当に顔が上気しています。

色んな顔がありました。スペイン人学生と(集団)デートの約束ができた学生の会心の笑み、咽喉炎の友達のために的確な薬を買ってきた学生(何をどう説明したのか未だに謎ですが)、流感で40度近くの熱を出しながら看護師さんを片言で笑わせようとした某君、カーニバルの時期になることを事前調査、新撰組の仮装でスペイン人から喝采を浴びた学生等々。人種・国籍・言葉が異なろうとも共感し合える一瞬がある一方、基本的発想が全く異なる社会を発見するのですから、人間の幅を広げ、発想のポケットが一つも二つも増えて、輝くような笑顔で、1か月後閑空の到着口から出てくるのは当然だと思います。

苦労したはずのスペイン語は時間と共に怪しくなるとしても、人の温もり、歴史を主張するヨーロッパやユーロの使いでなどの実感、自分の知恵で暮らした日々の充実感は一失忘れないことと思います。



国立バリャドリ大学言語センター長カルメン(左)と、協定締結以来お世話になっているコーディネーター、イサベル(右)(カルメンが持っているのは、帝塚山大学から贈ったお雛様です。)



遠足に出発(国立バリャドリ大学本部前の広場にて)

## 2011年度 学部入試日程一覧

入試区分	受付期間			試験	合格発表	
	開始	最終	持込(本学持参)			
一般入学試験	A日程前期	1月6日(水)	1月19日(水)	1月20日(木) ・ 1月21日(金)	1月25日(火) ・ 1月26日(水)	2月1日(火)
	A日程後期	1月6日(水)	2月1日(火)	2月2日(水) ・ 2月3日(木)	2月6日(日)	2月11日(金)
	B日程	1月25日(火)	2月16日(水)	2月17日(木) ・ 2月19日(土)	2月22日(火) ・ 2月23日(水)	3月2日(水)
	C日程	2月21日(月)	3月10日(水)	3月11日(金) ・ 3月12日(土)	3月14日(月)	3月17日(木)
センター試験利用入試	前期	1月6日(水)	2月3日(木)	—	—	2月11日(金)
	後期	2月21日(月)	3月9日(水)	—	—	3月17日(木)
外国人留学生後期	1月12日(水)	1月25日(火)	—	2月22日(火)	3月2日(水)	

入試区分	受付期間			試験	合格発表	
	開始	最終	持込(本学持参)			
AO入試	3月入試	2月28日(月)	3月11日(金)	3月14日(月)	3月17日(木)	3月18日(金)

※各試験の、選考方法、実施学部については、入試課にお問合せまたは、ホームページ (<http://www.tezukayama-u.ac.jp/admission/>) でご確認ください。

## 2011年度 大学院 入試日程

出願期間 **1月27日(木)~2月3日(木)** 締切日消印有効

選考日程 ●選考日**2月14日(月)**※  
●合格発表**2月21日(月)**

### 博士前期課程・修士課程

- 人文科学研究科日本伝統文化専攻(博士前期課程)
- 人文科学研究科臨床社会心理学専攻(修士課程)
- 経済学研究科経済学専攻(博士前期課程)
- 法政策研究科世界経済法制専攻(博士前期課程)

### 博士後期課程

- 人文科学研究科日本伝統文化専攻(博士後期課程)
- 経済学研究科経済学専攻(博士後期課程)
- 法政策研究科世界経済法制専攻(博士後期課程)

※前期の選考日のみ下記のとおりとなります。  
人文科学研究科日本伝統文化専攻は2月14日(月)、15日(火)  
人文科学研究科臨床社会心理学専攻は2月15日(火)  
経済学研究科経済学専攻は2月14日(月)、15日(火)  
法政策研究科世界経済法制専攻は2月14日(月)又は15日(火)

### お問合せ先

#### 帝塚山大学 入試課

Tel: 0742-48-9149 (直通) Fax: 0742-48-9021  
E-mail: nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp



「大学通信帝塚山」  
企画・編集委員会

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1  
TEL 0742-48-9341 FAX 0742-48-9030  
[E-mail] koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp  
[URL] <http://www.tezukayama-u.ac.jp/>

読者の方々からの  
声  
を  
お待ちしております



PRESENT

「大学通信帝塚山」は、大学の各種情報を多くの方々に知っていただくと同時に、読者の方々との双方向コミュニケーションの促進を目指しています。

本誌の記事、本学の教育・研究内容などについてのご意見・感想や、「大学通信帝塚山」に取り上げて欲しい内容についての皆様の声をお待ちしております。いただいたご意見等は次回以降の「大学通信帝塚山」に反映させていただきます。

※宛先は左記を参照してください。なるべく、ご住所、お名前、電話番号の記入をお願いいたします。

「大学通信帝塚山」について、ご意見をお送りくださった方全員に、帝塚山大学グッズをプレゼントします。